



JASDAQ

平成 30 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野村 拡伸  
(JASDAQ・コード 6629)  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役 水上 康  
電話 052-823-8551

## 子会社の固定資産の譲渡及び特別損失の計上 に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社エルモ社が所有する固定資産の譲渡について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。これに伴い特別損失を計上しておりますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 子会社の固定資産の譲渡について

##### (1) 譲渡の理由

テクノホライゾングループは事業構造改革の一環として、工場の統廃合やグループ企業の吸収合併を行う等事業の選択と集中を進めております。

この度、株式会社エルモ社が所有する土地及び建物につきまして、経営資源の集中と効率化及び財務体質の強化をはかるため、譲渡することといたしました。

##### (2) 譲渡資産の内容

資産内容及び所在地	現状
名古屋市瑞穂区明前町 604 番、605 番 土地 1,741.21 m <sup>2</sup> 、1,775.33 m <sup>2</sup> 建物延べ 12,618.77 m <sup>2</sup>	(株)エルモ社 本社東工場

譲渡価格につきましては、譲渡先の要望により公表を控えさせていただきます。

##### (3) 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先の要望により公表を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はございません。

##### (4) 譲渡の日程

契約締結： 平成 30 年 10 月 31 日  
物件引渡日： 平成 31 年 1 月 31 日（予定）

## 2. 特別損失の計上

当該子会社の固定資産の譲渡の決定に伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき帳簿価額を回収可能価額まで減損いたしました。つきましては、平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算において減損損失 374 百万円を計上しております。

## 3. 業績に与える影響

上記の特別損失の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。なお、本特別損失の発生で、平成 30 年 5 月 15 日公表の当社平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の変更は行いません。

以上